

大分市歴史資料館

OITA CITY HISTORICAL MUSEUM

ニュース

vol.

110

2015.7.18

平成27年度テーマ展示Ⅱ

戦時下のくらしと戦後復興

「銃後を生きた子どもたち」

会期

7月18日(土)

9月27日(日)

〔少年倶楽部〕昭和11年



大分市歴史資料館 平成27年度テーマ展示Ⅱ

戦時下のくらしと戦後復興

-銃後を生きた子どもたち-

会期:7月18日(土)~9月27日(日)

今年には戦後70年にあたります。昭和6年(1931)の満州事変は15年間続く日中戦争・アジア太平洋戦争の始まりとなりました。長期化する戦争に対応するため、国は昭和13年(1938)、全ての人的・物的資源を統制し運用する「国家総動員法」を定め、戦場のみならず「銃後」と呼ばれた国内での生活も戦争一色となっていきました。

本テーマ展では、市内に残された資料から統制下にあった戦時中のくらしと、家族によせる想いや今なお語り継がれる大分空襲、そして戦後復興について紹介します。

1 大分の名所となった歩兵第47連隊



大分市鳥瞰図(昭和9年)

明治40年(1907)、歩兵第72連隊が大分市駄原の地に創設され、部隊は市民にとって身近な存在となりました。

72連隊は軍縮の影響を受け大正14年に解隊し、かわって歩兵第47連隊が小倉から移駐してきました。

大分市の名所を案内する鳥瞰図には47連隊が描かれ、また部隊の絵葉書も発行されており、このことから入隊や面会などで部隊を訪れる人びとが多くいたことがうかがえます。

2 「銃後」の子どもたち

戦地に対し、戦場ではない国内は「銃後」と呼ばれ、生活は戦争のために制限されていきました。子どもたちは「少国民」と呼ばれ学校の教育も様変わりし、徐々に通常の授業ではなく軍事教練や勤労奉仕での農作業が増え、学徒動員により工場などの軍事施設の働き手となりました。

子ども向け漫画雑誌には「一人一人が銃とる心」をスローガンとして「銃後固くして戦線強しー男も女も大人も、子供も、戦に出た気持ちで自分の仕事にはげんでこそ、銃後の守りは巖のやうに固くなるのだ」と戦時下の心構えを説いた広告が掲載されていました。戦場を国内から支えるための戦力として子どもたちも期待されていたことがうかがえます。



『少年倶楽部』(昭和13年7月)

3 兵士への想い

召集令状はその色から「赤紙」と呼ばれました。「赤紙」を受け取ると期日までに指定された部隊へ到着しなければならず、拒否することはできませんでした。多くの家庭から父や兄弟たちが、戦場へ向かったのです。

戦争が激化するにつれて徴兵年齢が引き下げられ、さらには徴兵猶予を与えられていた教員さえも兵士となったのです。

兵士の家族や教え子、同僚たちは武運長久や無事を祈り、日の丸に寄せ書きしたり、千人針や弾除けお守りを贈るなどしました。



中央通りを行進する歩兵47連隊の出征兵士 (個人蔵)

女学生から教員に贈られた千人針

千人針は弾除け信仰の一つで、千人の女性に一針ずつ結び目(玉止め)を縫ってもらいました。死線を越えるという願掛けで五銭玉を縫いこんだものもあります。



4 大分空襲 - 戦火の中の子どもたち -

昭和19年(1944)、サイパン島が陥落すると日本本土も本格的に空襲を受けようになり、昭和20年3月には大分市も初めて空襲を受けます。

市内には大分海軍航空隊や第12海軍航空廠、関連工場などの軍事施設のほか、日豊・久大・豊肥本線の中核である鉄道操車場が設けられていました。それらは空襲の標的の中心となり、何度も爆撃を受け、そこで働いていた市内外から集められた学徒たちも犠牲となりました。

終戦間際の7月16日の夜間大空襲では大分市街が標的となり、大量の焼夷弾が落とされました。その被害は凄まじく「大分駅に立って眺めたら、浜町の海が見通せた」といわれるほどでした。



神風ハチマキ姿の第一高等女学校の学生たち (個人蔵)



昭和20年3月18日の空襲で大分航空廠へ落とされた焼夷弾片



大分市鶴崎の民家の柱に残った弾丸

5 復興する大分市



夜間大空襲直後の中央通り『市勢要覧』(昭和30年)より



復興した中央通り『市勢要覧』(昭和30年)より



復興後の竹町通り商店街『市勢要覧』(昭和29年)より

昭和20年(1945)8月15日、日本はポツダム宣言を受諾し、15年に及ぶ長い戦争の時代が終わりました。戦後、食糧難など苦しい生活の中、大分市街地の復興も急ピッチで進められました。『市勢要覧』によると昭和21年に開始された大分市の戦災復興事業に沿って、昭和30年頃にはほぼ新しい町並みへと生まれ変わっていったことがわかります。

また、復興が進むにつれて子どもたちを取巻く環境も大きく変わっていきます。戦時下の教育から脱却し、民主主義に基づいて男女共学の学校教育が開始されました。

木造釈迦如来坐像 一大分市指定有形文化財一

平成26年度に、新たに長興寺の木造釈迦如来坐像が市の有形文化財に指定されました。

この釈迦如来坐像は、現在、大分市大字松岡の長興寺の仏殿に本尊として安置されています。

「豊後国志」や「豊府聞書」によれば、長興寺は嘉元3年(1305)の創建とされ、その開基は当時戸次荘を治めていた戸次重頼とも、豊後国守護の大友貞宗(6代)ともあり、はっきりしたことはわかっていません。しかし、文保2年(1318)の「戸次荘松岡長興寺鐘銘」から、当時、長興寺が存在していたことは確かだと考えられます。

本像は、檜材を用いた寄木造で、水晶の眼をはめ、頭髪を群青でほどこし、体や衣には漆を塗り、その上に金箔を貼って仕上げられています。顔は両頬が張り、はっきりとした弧を描く眉、厚めの脛に切れ長の眼、太めの鼻に固く結ばれた口許をしています。また、肩幅が広く、厚みのある胸や腹などどっしりとした体をしています。衣は両肩から腹部にかけて流れ、広い両膝を覆い、いたるところでうねりを見せ翻っています。

このように力強い表情や体のつくり、シャープで変化に富んだ衣の形などから、鎌倉時代を代表する仏師である達磨や快慶の流れを受け継ぐ慶派仏師によって、鎌倉時代末期から南北朝時代にかけての14世紀前半頃に作られたと考えられています。このような作ぶりの優秀さや、伝来の古さなどから、大分市の仏教文化を考える上で貴重な仏像とし、大分市の有形文化財として指定されました。

【平成27年3月9日指定】



木造釈迦如来坐像／長興寺蔵

利用案内

- 開館時間 9時から17時(入館は16時30分まで)
- 休館日 月曜日 但し祝日の場合は開館
また第1月曜日は開館し、翌火曜日が休館日
祝日の翌日 但し土・日曜の場合は開館
年末年始 12月28日～1月4日



- 観覧料 大人200円(団体150円) 高校生100円(団体50円)
中学生以下 無料 ※団体は20名以上
※身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその介護者は無料。
◎入館時に受付で手帳を提示してください。



- 交通機関 ・JR久大本線 豊後国分駅下車 徒歩2分
・大分自動車道 大分I.C・光吉I.Cよりともに約15分



発行日：平成27年7月18日

発行：大分市歴史資料館 〒870-0864 大分市大字国分960-1 Tel097-549-0880 Fax097-549-5766

※大分市ホームページの「観光・魅力>歴史・文化財>歴史・文化を学ぶ>大分市歴史資料館」も併せてご覧下さい。

(<http://www.city.oita.oita.jp/>)

ふれあい歴史体験講座

- 定員 各回70名程度(先着順)
- 時間 午前の部 9時30分～(約2時間)
午後の部 14時00分～(約2時間)



	実施日	内容	材料費	受付開始日
第6回	8月8日(土)	土面作り	140円	7月18日(土)
第7回	8月22日(土)	粘土はにわ作り	230円	8月3日(月)
第8回	9月5日(土)	紙かご編み	150円	8月18日(火)
第9回	9月19日(土)	土の鈴作り	60円	9月3日(木)
第10回	10月3日(土)	籐芯かご編み	430円	9月18日(金)
第11回	10月17日(土)	土偶作り	180円	10月3日(土)
第12回	11月14日(土)	粘土はにわ作り	230円	10月18日(日)
第13回	12月12日(土)	勾玉作り	220円	11月18日(水)
第14回	12月26日(土)	和扇作り	220円	12月3日(木)
第15回	1月16日(土)	土面作り	140円	12月18日(金)

- 応募 上記の受付開始日より、電話にて応募ください。
(大分市歴史資料館：097-549-0880)

勾玉作り教室

- 内容 夏休み中の2日間と10月の2日間に、歴史資料館1番人気の勾玉が予約なしで作れます。時間内であれば何回でも作れます。

- 実施日 第1回 7月25日(土) 9時～11時と13時～15時
第2回 7月26日(日) ※時間内に随時受け付けます。
第3回 10月24日(土) (制作時間：1時間30分程度)
第4回 10月25日(日)
- 材料費 220円

- 準備物 マスク・ぞうきんまたは古タオル・ビニール袋(着色用2枚)・ビニール袋(粉入れ用1枚)

テーマ展示解説講座

- 内容 講座室でテーマ展示Ⅱ「戦時下のくらしと戦後復興一銃後を生きた子どもたち」について、スライドなどで解説した後、展示会場を案内します。
- 日時 8月2日(日) 14時～15時30分
- 参加費 無料 ※事前の申し込みは必要ありません。

★上記の名講座等の参加者は観覧料が無料になります。